



愛知県教育委員会 飯田教育長様

2022年12月26日

請願人 行政を考える住民の会

事務局 宮崎邦彦

住所

新型コロナウイルス感染・防止等、について、小学生、中学生、高校生、教職員が理解できる文書を作成して、教諭が説明できることを求める請願。

請願の趣旨、理由

- 1 2022年12月22日、愛知県教育委員会会議において（議事日程 資料1）、新型コロナウイルス感染症対策に関係（マスク等について）する、請願39号、40号、41号が提出される。

請願提出者から、行政の担当者が、（マスクの、必要性について？）、説明できなかつたという実態をいわれた。

この日、担当する課長から、「マスク着用の意味の・・・、配布していく。という回答を聞きました。

出席していた教育委員から、「納得できる情報を出していかないと」という発言がありました。行政として、具体的な、対応を求めていく上で、保護者も含め、こどもに対して、納得してもらうための、理解することのできる情報が示されているのかということである。この趣旨の請願が、名古屋市にも提出されたかどうかは、不明であるが、放置していいという問題ではないので、愛知県、名古屋市教育委員会に請願をする、

- 2 以前、学校で行われていた、インフルエンザ予防接種においては、名古屋市の学校においては、学校によっては、インフルエンザの予防接種について、その効果が、ある・ない等についての資料・データ等もつけられた接種「希望する、希望しない」を問う、文書が配布されていました。その後、全国の学校での「インフルエンザ予防接種」は中止になりました。理由として接種者が、減ったからと云うことを記憶するが、実際は、どうだったのか、確かめていない。
- 3 「マスク着用について」、文書が配布するとのことでしたので、あらためて文書が作成、配布されと思われましたので、それ以前の請願に至りました。
- 4 現在まで出されている資料を整理されて、文書は作成されると思います。

当然、新型コロナウイルスとは、身体に対してどのような働きかけをするのか、どのようにして取り付くのか、どのようにして感染するのか、いまだ明確になっているといいにくい。

「マスクの有効性について」問題、疑問になっているのが、感染の仕方について、明確になっているといえないからではないかといえる。

感染の仕方について、どのようなデータがもとになっているのか、主流になっているのか、なぜそのデータを選択しているのか、根拠としているのかも含め、示されるべき

である。そのデータに反するもの（有効性を疑うデータ）があればそのデータも示されるべきである。

オミクロン対応接種率32%（中日新聞2022年12月25日資料2）

終わりのない、ワクチン接種に対する「接種疲れ」や副反応への懸念、有効性を示すデータ当初少なかったことなど、とある。これらの疑問点に対しても、納得できる資料、文書は必要であるということである。

- 5 インフルエンザ予防接種において、「ウイルスの変異で型が一致しないと、効果がない」ということである。現在この理由根拠がどのように修正等されたのかどうか、訂正されたかどうか、認識していない。

当時、実際の効果があるかないか、データ、が示し続けられました。

ワクチン接種、接種をしておけば、重症化しない。ということが言われた記憶である。

請願事項

- 1 新型コロナウイルスに関係することについて、小学生、中学生、高校生、教職員に、理解してもらうための文書を、愛知県・名古屋市教育委員会は協力して作成（以下文書という）すること。作成が困難な場合は、厚生労働省に協力を依頼すること。
- 2 文書を作成したら、教職員が、理解し、説明（小、中、高生に）できるかどうかを確認すること。
- 3 速やかに、こどもに（小中高生）文書の説明をすること、
- 4 文書に記載してある、新型コロナウイルス、その予防接種やマスクについての、有効性ありとしていること等の根拠について、住民、に明確にすること（示すこと）

。

添付資料

資料1 愛知県教育委員会会議議事日程 2022年12月22日（木）

資料2 中日新聞 2022年12月25日 オミクロン対応接種32%

口頭意見陳述希望